

「広陵町公共交通網形成計画」における評価項目

基本方針	基本目標	目標指標の方向性	目標項目	目標水準	具体的な数値目標
基本方針① まちづくりを支える公共交通サービスの維持・向上	①基幹公共交通として、鉄道・路線バスのネットワーク・利用者数の維持を目指す	個々の公共交通の運行本数等のサービスの維持・向上により、公共交通利用者数を維持・増加	公共交通利用者数	維持	○路線バス（奈良交通） H26年度（1日平均利用人員） 竹取公園東系統 665人/日 真美ヶ丘線・王寺五位堂線 4,159人/日 H33年度：現状維持
	②広陵元気号の再編により町民の移動利便性を高める	広陵元気号の再編による運行サービス向上により、利用者を増加	広陵元気号利用者数	増加	○広陵元気号 H26年度：24,670人 H33年度：27,000人 （約10%増）
		住みやすいまちづくりに寄与	転出・転入人口（社会動態）	転出抑制	○町の転出人口と転入人口 H26年度：社会増182人 H33年度：転入人口の維持・増加、転出人口の抑制
		観光振興への寄与	町内の滞在人口	維持・増加	○町内滞在人口（休日・1日あたり） H26年度：65,800人 H33年度：66,000人 （地域経済分析システム）
基本方針② 町内全域をカバーし、鉄道駅等に接続する公共交通ネットワークの形成	③公共交通相互の連携とサービス向上により、利便性を高める	公共交通相互の連携強化	交通結節点整備	向上	○バスとの接続の整備箇所数 H27年度：なし H33年度：1箇所（役場前）
		公共交通の利便性向上	町外への便数	維持・向上	○路線バスによる鉄道駅（五位堂駅、大和高田駅）までの運行便数 H27年度：190本/日（平日） H33年度：維持 ○広陵元気号での近鉄大和高田駅までの便数 H27年度：6往復/日 H33年度：2倍に相当する12往復以上
			町中東部地域における通勤の利便性	向上	○広陵元気号での大和高田駅までの通勤時間帯の運行 H27年度：なし H33年度：朝2便、夕2便以上
④町民の公共交通に対する満足度を高めて利用者増につなげ、公共交通の持続性を高める	広陵元気号の利便性の向上	公共交通の利便性	町内移動の利便性	向上	○町内路線の便数 H27年度：12循環/日 H33年度：2倍の24循環/日以上
		公共交通に対する満足度の向上	利用者の満足度	向上	○地域公共交通に関する町民の満足度 H27年度：14.8% H33年度：20% （広陵町まち・ひと・しごと総合戦略）

基本方針	基本目標	目標指標の方向性	目標項目	目標水準	具体的な数値目標
基本方針③ 公共交通を活用する生活スタイルへの転換と協働の取り組みの促進	⑤モビリティ・マネジメントの推進	公共交通を利用する意識の向上	バスを日常的あるいはときどき利用する人の割合	向上	○町内移動の主な交通手段となるバスを利用している人（日常的に利用する、時々利用する）の割合 H26年度：31.7% （H26年度住民アンケート調査） H33年度：35%（約4%増）
			モビリティ・マネジメントの実施	実施	○モビリティ・マネジメントの実施数 H27年度：なし H33年度：年間1回以上
		利用しやすくなる情報提供	運行情報提供	整備	○乗り換え案内サイトへの情報提供状況 H27年度：なし H33年度：2箇所以上のサイトでの情報提供
	⑥公共交通を守り育てる環境づくり	公共交通を守り育てる意識を高める	住民懇談会の開催回数	維持	○住民懇談会の開催回数 H25～26年度：18回 H33年度まで：年12回以上
			高齢者運転免許自主返納者数	増加	○高齢者運転免許自主返納者数 H26年度：34人 H33年度：40人
			イベント開催回数	増加	○年間の公共交通に関わるイベント数 H27年度：なし H33年度まで：年間1回以上